

## 依存問題を動画で解説

### RSN eラーニング講座

リカバリーサポート・ネットワーク(RSN)がパチンコホールスタッフ向けのeラーニング「パチンコ・パチスロ依存問題基礎講座」を作成した。依存問題の知識や職責に応じた全スタッフに向け

たカリキュラムを動画で解説するもので、2022年3月までは全て無料で利用できる。RSNの西村直之代表理事は「顧客の質やお店の規模がさまざまなパチンコホールにおいては、

個々に顧客保護のための従業員教育プログラムを準備し実施することは、費用・時間的に大変難しいことと思う。すべてのホール、従業員が簡単に受講できて、必要な知識を学ぶためのツールとして今回のプログラムの提供を行うこととした」と、eラーニング講座を作成した経緯を文書で説明している。

## 依存防止対策を緩めない

### 日遊協

日本遊技関連事業協会は7月16日、定例理事会と加盟団体会議後に記者会見を開催。定例理事会では、依存問題対策の進捗状況、遊技機の大型化に関する検討会の審議状況、パチンコ・パチスロ依存問題防止研究会の調査報告に関する記者会見(7日)の結果などが主な報告案件だったと説明した。

依存問題防止研究会が「出玉性能は依存問題の原因ではない」とした調査結果を公表したことを受けて、日遊協として何らかのアクションを起こすのかとの記者からの問いに西村拓郎会長は「研究では、遊技機の出玉性能と遊技障害リスクには因果関係が考えづらいという報告があり、合点が

いったという感想も持っている。ただし、業界は大切なお客様の中から依存症者を出さないためにも、依存対策にしっかり取り組まなければならない。この調査報告をもって、依存防止対策が緩まないように引き続き啓蒙する」と述べた。

それらの問題点について、メーカー側から何らかの回答を得る予定。西村会長はこの検討会について、「日遊協は、(日工組や日電協に)団体加盟していただいているので、日遊協の中でそういったキャッチボールができる環境にある。現状はパチンコ機が対象だが、パチスロ機も大型化や重量化が進んでいるという事案があるので、今後はパチスロにも広げていくことを考えている」と補足した。

遊技機の大型化に関する検討会は、第2回が16日に開催された。検討会では、遊技機の大型化によるホール現場での問題点を挙げこれをメーカーと共有した。第3回では